

水質検査

安心して飲める水道水を供給しています

水道水の水質検査を定期的に行っています。最新の結果は右表のとおりで、基準値および指針値を下回っています。

また、年4回実施している水中放射性物質濃度(放射性ヨウ素131、放射性セシウム134・137)も継続して不検出です。安心して水道水をご利用ください。

採水地点 大井第3水源内給水栓(大井 武蔵野1424・2)、さぎの森放課後児童クラブ(駒林1263・2)

検査機関 (株)新環境分析センター



福岡浄水場



大井浄水場

検査項目	基準値	採水日：令和2年1月17日	
		福岡浄水場	大井浄水場
一般細菌	100個/ml以下	0個/ml	0個/ml
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	0.0003mg/l未満	0.0003mg/l未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005mg/l未満	0.00005mg/l未満
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005mg/l未満	0.005mg/l未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004mg/l未満	0.004mg/l未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	3.5mg/l	2.8mg/l
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08mg/l未満	0.08mg/l未満
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1mg/l未満	0.1mg/l未満
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002mg/l未満	0.0002mg/l未満
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005mg/l未満	0.005mg/l未満
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004mg/l未満	0.004mg/l未満
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002mg/l未満	0.002mg/l未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
塩素酸	0.6mg/l以下	0.06mg/l未満	0.06mg/l未満
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002mg/l未満	0.002mg/l未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.004mg/l	0.003mg/l
ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003mg/l未満	0.003mg/l未満
ジブromクロロメタン	0.1mg/l以下	0.005mg/l	0.004mg/l
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001mg/l未満	0.001mg/l未満
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.015mg/l	0.012mg/l
トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.004mg/l	0.003mg/l未満
ブromジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.005mg/l	0.004mg/l
ブromホルム	0.09mg/l以下	0.001mg/l	0.001mg/l
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008mg/l未満	0.008mg/l未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01mg/l未満	0.01mg/l未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02mg/l未満	0.02mg/l未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03mg/l未満	0.03mg/l未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01mg/l未満	0.01mg/l未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	15mg/l	13mg/l
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005mg/l未満	0.005mg/l未満
塩化物イオン	200mg/l以下	28mg/l	16mg/l
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	95mg/l	70mg/l
蒸発残留物	500mg/l以下	190mg/l	150mg/l
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02mg/l未満	0.02mg/l未満
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001mg/l	0.000001mg/l
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001mg/l未満	0.000001mg/l未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002mg/l未満	0.002mg/l未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005mg/l未満	0.0005mg/l未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3.0mg/l以下	0.7mg/l	0.6mg/l
pH値	5.8以上8.6以下	7.1	7.2
味	異常でないこと	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし
色度	5.0度以下	0.5度未満	0.5度未満
濁度	2.0度以下	0.1度未満	0.1度未満
残留塩素	0.1mg/l以上	0.3mg/l	0.2mg/l

採水日：令和元年9月13日(福岡)、令和元年9月20日(大井)

検査項目	指針値および単位	福岡浄水場	大井浄水場
ダイオキシン類	1pg [※] -TEQ [※] /l以下(暫定)	0.018pg-TEQ/l	0.010pg-TEQ/l

※pg(ピコグラム)は1兆分の1グラム。
 ※TEQとは毒性等量のこと。ダイオキシン類のそれぞれの同族体の毒性を2,3,7,8-TCDD(ダイオキシン類の中で最も毒性の強い化学物質)の量に換算して合計したもの。

問合せ●上下水道課(TEL220・2078)

財務書類

平成30年度決算 財務書類を公表します

財務書類には「貸借対照表(バランスシート)」と「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」があり、そのうちの「貸借対照表」と「行政コスト計算書」について説明します。

平成30年度の特徴としては、市民の皆さんへの負担が少ない合併特例債などを活用し、総合体育館を中心とするスポーツゾーンの再整備や上野台小学校校舎の増設などを行い、また、市民の連携の強化と地域振興を図るための事業の財源として地域振興基金を造成しました。これらによる資産の増加のため、資産合計が増加しています。

詳しい財務書類については、市ホームページで公表しています。

貸借対照表(バランスシート)

市が保有する土地、建物、現金預金、基金などの資産と、その資産の形成に使った財源(負債・純資産)を表しています。負債は、今後の支払義務があるため、将来世代の市民負担を意味します。純資産は、これまでに皆さんが納めた税金や行政活動によって得られた収益または費用が蓄積されたもので、過去および現世代の市民負担を意味します。

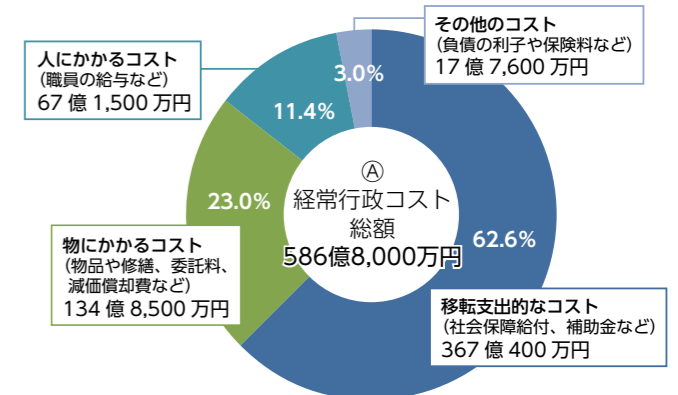
資産の部 (これまで積み上げてきた財産)	負債の部 (これからの世代が負担する金額)
1.有形固定資産 1,432億400万円 (庁舎、保育所、学校、図書館、体育館などの事業用資産、道路、公園、上下水道などのインフラ資産、物品)	1.固定負債 613億1,700万円 (債務の返済期限が翌年度以降のものなど)
2.無形固定資産 12億8,700万円 (所有するシステムやソフトウェアなど)	2.流動負債 66億700万円 (債務の返済期限が翌年度のものなど)
3.投資など 109億400万円 (出資金、貸付金、特定目的基金など)	負債合計 ①679億2,400万円
4.流動資産 139億300万円 (現金預金、財政調整基金、減債基金など)	純資産の部 (過去または現世代が負担してきた金額)
資産合計 1,692億9,800万円	純資産合計 ②1,013億7,400万円
	負債および純資産合計 ①+② 1,692億9,800万円

連結している会計の範囲

市の会計	市に関する会計
・一般会計 ・国民健康保険特別会計 ・介護保険特別会計 ・後期高齢者医療事業特別会計 ・水道事業会計 ・下水道事業会計	・彩の国さいたまづくり広域連合 ・埼玉県後期高齢者医療広域連合 ・埼玉県市町村総合事務組合 ・入間東部地区事務組合 ・入間東部福祉会 ・ふじみ野市土地開発公社

行政コスト計算書

平成30年度1年間に市が提供した行政サービスのうち、大きな比重を占める人的サービスや給付サービス(福祉事業やごみの収集など)などの資産形成につながらない行政サービスにかかったコストを表しています。現金の支出を伴わない減価償却費などのコストも含み、普通建設事業費などの資産形成につながるコストや借金の元金返済額は含みません。



③経常収益(行政サービス等の利用による使用料、手数料など) …… 41億900万円
 ④純経常行政コスト(①-③) …… 545億7,100万円

分析指標

世代間負担比率	歳入額対資産比率	有形固定資産減価償却率
・過去および現世代負担比率(純資産比率) 59.9% 「純資産合計÷資産合計×100」 ・将来世代負担比率 20.4% 「地方債残高(※1)÷有形・無形固定資産合計×100」 (※1) 地方債残高から減税補てん債、臨時財政対策債を控除した残高：294億7,300万円	2.3年 「資産合計÷歳入総額(※2)」 (※2) 歳入総額：732億6,000万円	48.0% 「減価償却累計額(※3)÷(有形固定資産合計-土地などの非償却資産(※4)+減価償却累計額)×100」 (※3) 減価償却累計額：601億2,700万円 (※4) 土地等の非償却資産：781億6,900万円
市が保有している資産の形成にあたり、これまでの世代が負担した割合と将来世代が負担する割合を示しています。地方債残高が多くなっていますが、市民の皆さんの負担が少ない合併特例債などを活用して公共施設の整備を進めているためです。	形成された資産が歳入の何年分に相当するかを示しています。この年数が多いほど、公共施設の整備が進んでいると考えられますが、反面、維持管理費が多く発生することが見込まれます。	耐用年数に対して資産を取得してからどの程度経過しているかを把握することができます。100%に近いほど施設の老朽化が進んでいるといえます。

問合せ●財政課(TEL262・9004)

- ふじみ野市役所……………〒356・8501 埼玉県ふじみ野市福岡1・1・1 TEL049・261・2611 FAX049・266・6245
- ふじみ野市大井総合支所…〒356・8555 埼玉県ふじみ野市大井中央1・1・1 TEL049・261・2811 FAX049・266・6271
- ふじみ野市役所出張所……………〒356・0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘1・2・7 TEL049・261・0353 FAX049・261・0785

最新情報

新型コロナウイルス感染対策などの最新情報をお届けしています

感染拡大防止のためのイベント中止や公共施設の対応など、最新の情報をお届けしています。

●市ホームページ

3月2日にリニューアルしデザインを一新したホームページでは「注目情報」としてトップページの最上部に最新情報をまとめて表示しています。

●Fメール

携帯電話やパソコンのメールを通じて、市の最新情報をお届けします。QRコードから登録できます。

※一部の携帯からは登録できない場合があります。パソコンから登録するか、下記までお問い合わせください。



「注目情報」の中に、最新情報を掲載しています。



市ホームページトップ画面

問合せ●広報広聴課 (TEL262・9003)

自治組織

いざというとき 頼りになるのは「ご近所」や「自治組織」です

皆さんの地域には「ずっと住み続けたい」「住んでよかった」と思える地域をつくるために、ご近所の人たちが力を合わせて活動している組織があります。その組織が、町会・自治会・町内会(総称「自治組織」)です。

あなたが暮らす、大切な家族も暮らす、その地域をさらに住み良い地域にしませんか。

あなたの力を地域の力に!

自治組織に加入して、同じ地域に暮らす素敵な仲間、頼りになる仲間と「大好きな地域」をつくりましょう。

自治組織に加入するには

次の3つの方法があります。

- ①市報3月号と一緒に配布したチラシ(市内公共施設でも)

配布)に付いているはがきに必要事項を記入して切り取り、ポストに投函してください。市役所からお住まいの地域の自治組織役員に連絡し、後日皆さんに、役員からご連絡します。

- ②お住まいの自治組織の役員をご存じでしたら、直接申し込んでください。

- ③メールで申し込む(QRコードを読み取るとメール送信画面が開きます)。

※自治組織に関する相談も受け付けています。

※自治組織に関する内容は市ホームページから見る事ができます。



ふじみ野市 自治組織 検索

犯罪のないまち

日ごろから「防犯パトロール」などを実施し、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

ご近所さん

地域に住む高齢者や障がいのある人の見守り活動や敬老事業などを実施しています。

いざというとき

地域を守るため、自主防災組織を設置し、防災訓練などを実施しています。



きれいなまち

「ごみゼロ運動」や「花いっぱい運動」など、住み良い地域環境を創出する活動を実施しています。

子どもたち

小学生の登下校時に交通安全や防犯上の観点から、将来を担う子どもの見守り活動に取り組んでいます。

みんなで楽しもう

お祭りや餅つき、スポーツ大会、日帰り旅行など、さまざまなイベントに取り組んでいます。

問合せ●協働推進課 (TEL262・9016)

都市計画

都市計画マスタープランを新たに策定しました

市は、おおむね20年後を見据えたまちづくりの基本的な方針となる「都市計画マスタープラン」を3月に策定しました。旧プランは平成22年3月に策定されていますが「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」が策定されたのを受け、全面的に見直しました。

策定に当たっては、皆さんの意見を幅広く反映させるため、市民アンケートや市民懇談会を実施しました。寄せられた意見をもとに市役所内の検討委員会や都市計画基本方針検討委員会で検討し、とりまとめました。

●計画の位置付け

住みやすい環境や施設の整備(土地利用、建築物などの制限、道路、公園など)を進めるため、市民の皆さんの意見を反映しながらまちづくりの目標と方針を示すものです。「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」などに沿って策定しました。

●まちづくりの目標像

- ▶将来構想における「人がつながる豊かで住み続けたいまち ふじみ野」を踏まえ、次の3つを目標とします。
- ▶だれもが住み続けられ、持続的に発展するまち
- ▶多様なライフスタイルでの暮らしを可能とするまち
- ▶個性輝く魅力あふれるまち

●これからのまちづくりの進め方

まちづくりの目標像を実現するため、次の視点を踏まえて進めます。

視点1

郊外住宅都市としての持続性の確保と発展を目指す

視点2

産業活力の創造と、まちの活力の確保を目指す

視点3

広域の中での地域の魅力と個性の向上を目指す

●全体構想

まちづくりの目標像を実現していくために取り組むべき施策の基本的な考え方を示すもので、分野別に次の方針を定めました。

▶土地利用の方針

- ▶道路交通体系整備の方針
- ▶住まい環境整備の方針
- ▶安全・安心まちづくりの方針
- ▶みどりと水辺のまちづくりの方針
- ▶まちの魅力と景観づくりの方針

●地域別構想

市民懇談会では市内4つの地域に分かれ(下記地図参照)、地域ごとに普段の生活の中での身近な問題や「こうしたらもっとよくなる」などのアイデアを話し合いました。その内容を踏まえ、地域ごとの実情に応じたまちづくりの方針を策定しました。

●計画の実現に向けて

都市計画マスタープランに示すまちづくりの実現に向けて「多様な手法」「多様な主体」による協働のまちづくりを進めます。

地域別構想 地域区分図



計画は、市ホームページでご覧いただけます。



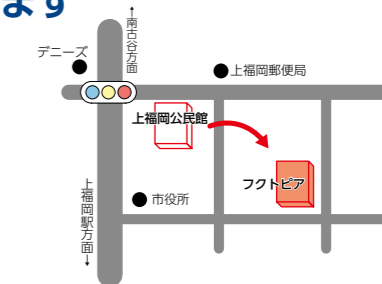
問合せ●都市計画課 (TEL220・2068)

避難所

水害時の避難所(上福岡公民館)を一時的に変更します

市が指定している21カ所の避難所のうち、風水害時における避難所となる上福岡公民館が、ことし4月から来年3月までの間、大規模改修工事(18ページ参照)のため利用できなくなります。

このため、令和3年3月までの一時的な代替施設として、避難所をフクトピア(福岡1・2・5)に変更します。いざというときの災害に備え、避難所の確認と災害情報に注視し、早めの行動を心がけてください。



問合せ●危機管理防災課 (TEL262・9017)